

明日からできる深める社会科！
個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の展開例
東葛飾教育事務所指導室

個別と協働の場面は、授業の1時間でも、単元全体でも、繰り返すことにより、思考が深まります！

中学校・歴史「（鎌倉時代）武士の政権の成立」

- ・単元を貫く学習問題：なぜ、武士は世の中を動かす存在になれたのか？

(2 / 6) 1 時間の中で個別と協働の場面を繰り返す！！

	個別	協働
見出す	① 初期の武士、鎌倉の武士の様子を比較 して、自分の意見をもつ	②発表し、仲間の考えを知る。 →③学習問題「 なぜ武士は成長したの だろう？ 」
自分で取り組む	④自分なりに調べる、考える 「 武士、源氏や平氏など 」	⑤調べたことを、伝え合う （ 一緒に調べる、分担して調べる ）
広げ深める	⑥調べたことをもとに、学習問題に対する意見をもつ 「 武士は一族で活動する 」 「 もともとは館の警護をした 」	⑦仲間に向けて発表する →仲間と一緒に班で考えを一つにする 「 戦いをおさめて、力をつけた？ 」
	⑧ ⑦の発表を聞いて意見や新たな疑問を持つ 「 何がきっかけなんだろう？ 」	⑨ 学習問題について仲間と、改めて考えてみる。 「 武士が貴族たち支えて、政治を任されていったんだ 」
まとめあげる	⑩ 自分の言葉でまとめを書く →⑪次時への新たな疑問を持つ 「 貴族の政治と何が違う？ 」	⑫ 仲間とまとめを共有する 「 なるほど！ 」「 こうやって考えるの おもしろい 」

単元全体で、個別と協働の場面を繰り返す！！ 1

- ・単元を貫く学習問題：なぜ、武士は世の中を動かす存在になれたのか？

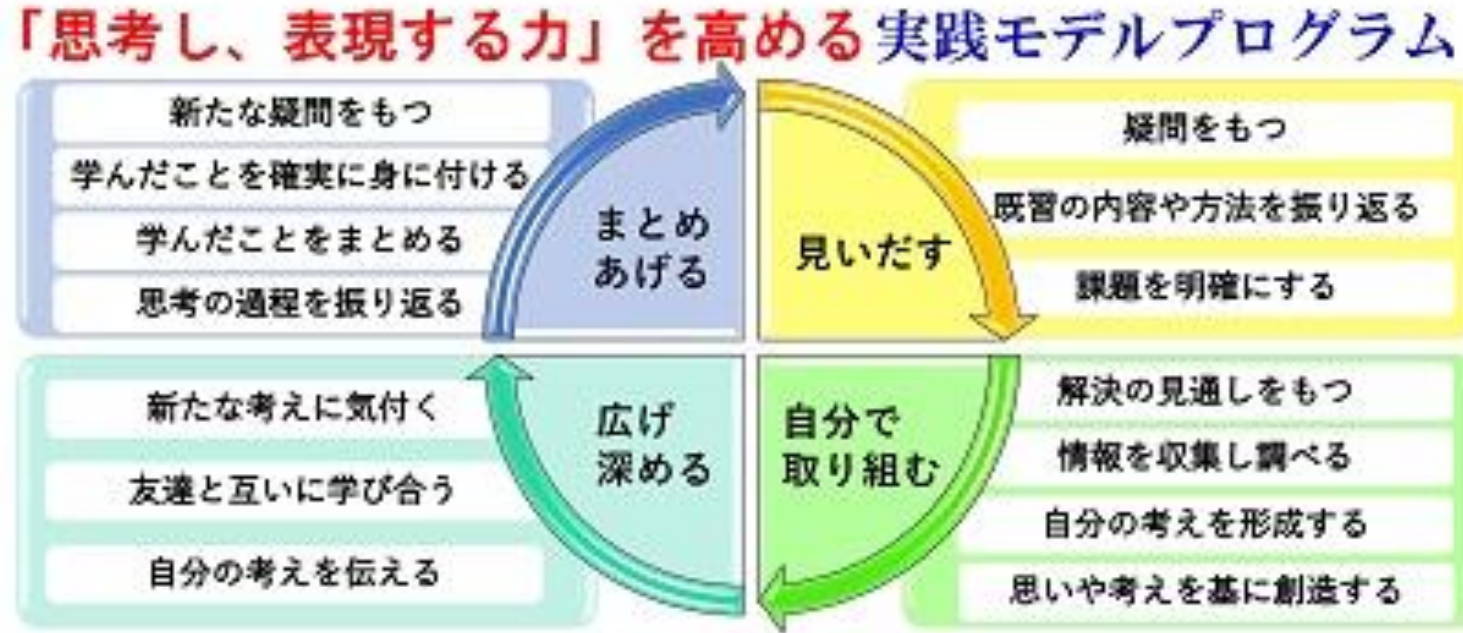
	個別	協働
見出す 「資料から単元課題を設定し、学習の見通しをたてよう！」	①金剛力士像や南大門をみてどんな時代なのか？自分の予想を持つ（武士の影響？） →④どうやって学ぶか、何を調べるか見通しをもつ。 「武士とは？民衆は？」	②発表する 「地味に見える、武士の時代？」 →③単元を貫く学習問題をたてる
自分で取り組む 「武士はどのようにして成長した」	⑤自分なりに調べる、考える →⑦単元を貫く学習問題との関連についても自分で考える。 「貴族の政治と何が違う？」	⑥調べたことを、伝え合う （一緒に調べる、分担して調べる）
自分で取り組む	※一斉指導ではなく、平氏、源氏に分かれて政治の仕組みの優れた点を調べてプレゼンし合うなども可能	

単元全体で、個別と協働の場面を繰り返す！！2

単元を貫く学習問題：なぜ、武士は世の中を動かす存在になれたのか？

	個別	協働
広げ深める 「平氏の政治は貴族の政治と何が違うのか？」 「鎌倉幕府は貴族の政治と何が違うのか？」など ※個人や班で調べて、プレゼンや発表も可	⑧調べたことをもとに、自分の考えを整理する。	⑨仲間に向けて発表する、議論する。 「平氏は摂関政治と似ている」 「御恩と奉公は家来のモチベーションがあがる」
	⑩単元を貫く学習問題との関連について、自分で考える →⑫ ⑪の発表を聞いて意見や新たな疑問を持つ。 「民衆の生活は？結局落ち着いた時代？」	⑪ 単元を貫く学習問題との関連について、班でも考えてみる。 「武士をまとめる仕組みがある」
まとめあげる 「なぜ、武士は世の中を動かす存在になれたのか？」	⑬前時の疑問を調べる 「武士が土地も開発した」 「戦いに備えた家」「裁判」 →⑮自分の言葉でまとめを書く。	⑭仲間と考えを共有する。単元を貫く学習問題との関連について共有。 「武士のおかげで、農業も盛んに」 →⑯まとめ・振り返りを共有する。

児童生徒が学びやすい環境づくりを！



生徒指導上の4つの視点

「自己存在感の感受」 「共感的な人間関係の育成」
「自己決定の場の提供」 「安全・安心な風土の醸成」